

令和 8 年 9 月 25 日

国土交通省関東地方整備局統括防災グループ・河川部

千葉県県土整備部

独立行政法人水資源機構経営企画部

「チーム印旛沼」を結成

～国、県、水資源機構の連携を強化し着実かつ迅速に対策を実施～

令和 8 年台風第 25 号により堤防の決壊が生じ、広範囲に浸水被害が生じた印旛沼（いんばぬま）周辺における排水活動並びに決壊した堤防の応急復旧の迅速化を図るため、国、千葉県、水資源機構による連携体制の強化を目的とし、「チーム印旛沼（いんばぬま）」を結成します。

1. 概要

令和 8 年台風第 25 号により堤防の決壊が生じ、広範囲かつ長期的な浸水被害が生じた印旛沼周辺において、排水活動並びに決壊した堤防の応急復旧を着実かつ迅速に実施するため、千葉県、水資源機構、関東地方整備局の 3 者で「チーム印旛沼」を設置し、会議等を通して連携強化を図ります。（詳細は別紙 1 参照）

2. 連絡調整会議

各機関の現状、課題の共有するため、以下の通り、第 1 回連絡調整会議を開催いたします。

（第 1 回連絡調整会議）

1. 開催日時：令和 8 年 9 月 25 日（金） 17:00～ （1 時間程度）
2. 開催方法：WEB 会議
3. 開催場所：関東地方整備局 16 階河川第一会議室

◎報道関係者の皆様へ

・当日、ぶら下がり取材を希望される報道機関の方におかれましては、別紙のとおり 9 月 25 日 15 時までに事前登録をお願いいたします。河川第一会議室における冒頭あいさつの撮影は可能です。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ
千葉県政記者会 千葉市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 河川部 【事務局】

電話：048-600-1335（直通）

メールアドレス：ktr-kasen-keikaku01@mlit.go.jp

地域河川調整官 荒川（あらかわ）（内線：3517）

チーム印旛沼の概要

1. 設置目的

令和 8 年台風第 25 号により堤防の決壊が生じ、広範囲かつ長期的な浸水被害が生じている印旛沼周辺における排水活動並びに決壊した堤防の応急復旧の迅速化を図るため、国、千葉県、水資源機構の連携体制の強化し、

1. 印旛沼の水位を可能な限り下げる
2. 破堤した 4 か所の応急復旧
3. 浸水箇所の排水

を着実かつ迅速に実施する。

2. 構成員

千葉県 県土整備部 次長

水資源機構 経営企画部 次長

関東地方整備局 河川部 地域河川調整官

統括防災グループ 総括防災調整官

※関係自治体等はオブザーバー等として参加予定

3. 設置日

9 月 25 日

4. 今後の予定

9 月 25 日第 1 回連絡調整会議を実施（WEB）

随時会議等を実施し連携を強化する。

事前登録について

令和 8 年 9 月 25 日（金）の第 1 回連絡調整会議につきまして、ぶら下がり取材を希望される報道機関におかれましては、以下のとおり、事前にメールにて登録をお願いいたします。

事前登録受付〆切：令和 8 年 9 月 25 日（金）15 時まで

件名：チーム印旛沼第 1 回連絡調整会議

本文：①代表者氏名（ふりがな）

②所属先

③連絡先（電話番号、メールアドレス）

送付先：関東地方整備局 河川部 河川計画課

ktr-kasen-keikaku01@mlit.go.jp

いんばぬま
チーム印旛沼による緊急排水等オペレーションについて

～ 1 週間程度を目途に、関係機関と連携し、3 本柱の対策を実施～

台風第 25 号により、印旛沼等の堤防が決壊し、広範囲かつ長期的な浸水被害が発生しているため、千葉県、(独)水資源機構、関東地方整備局からなる「チーム印旛沼」を結成し、「印旛沼周辺における緊急排水等オペレーション」(3 本柱の対策)を実施します。台風第 26 号の接近を考慮し、1 週間程度を目途に完了させることを目指します。

＜チーム印旛沼の結成＞

「印旛沼周辺における緊急排水等オペレーション」を着実かつ迅速に実施するため、千葉県、(独)水資源機構、関東地方整備局の 3 者からなる「チーム印旛沼」を結成し、会議等を通して連携強化を図る。

＜印旛沼周辺における緊急排水等オペレーションの 3 本柱＞

① 印旛沼の水位を可能な限り低下

排水ポンプを最大限稼働させ、9 月 25 日 7 時時点で約 3.0m となっている印旛沼の水位を、一両日中に平常時の水位である 2.3m まで低下させた上で、引き続き可能な限り水位低下を図っていく予定。

② 決壊した堤防の応急復旧(印旛沼等の 3 地区 4 か所)

今後の雨で再度水位が上昇した場合でも決壊箇所から再び氾濫することがないよう、現地での施工方法について技術的な支援を行い、早期の応急復旧を推進。

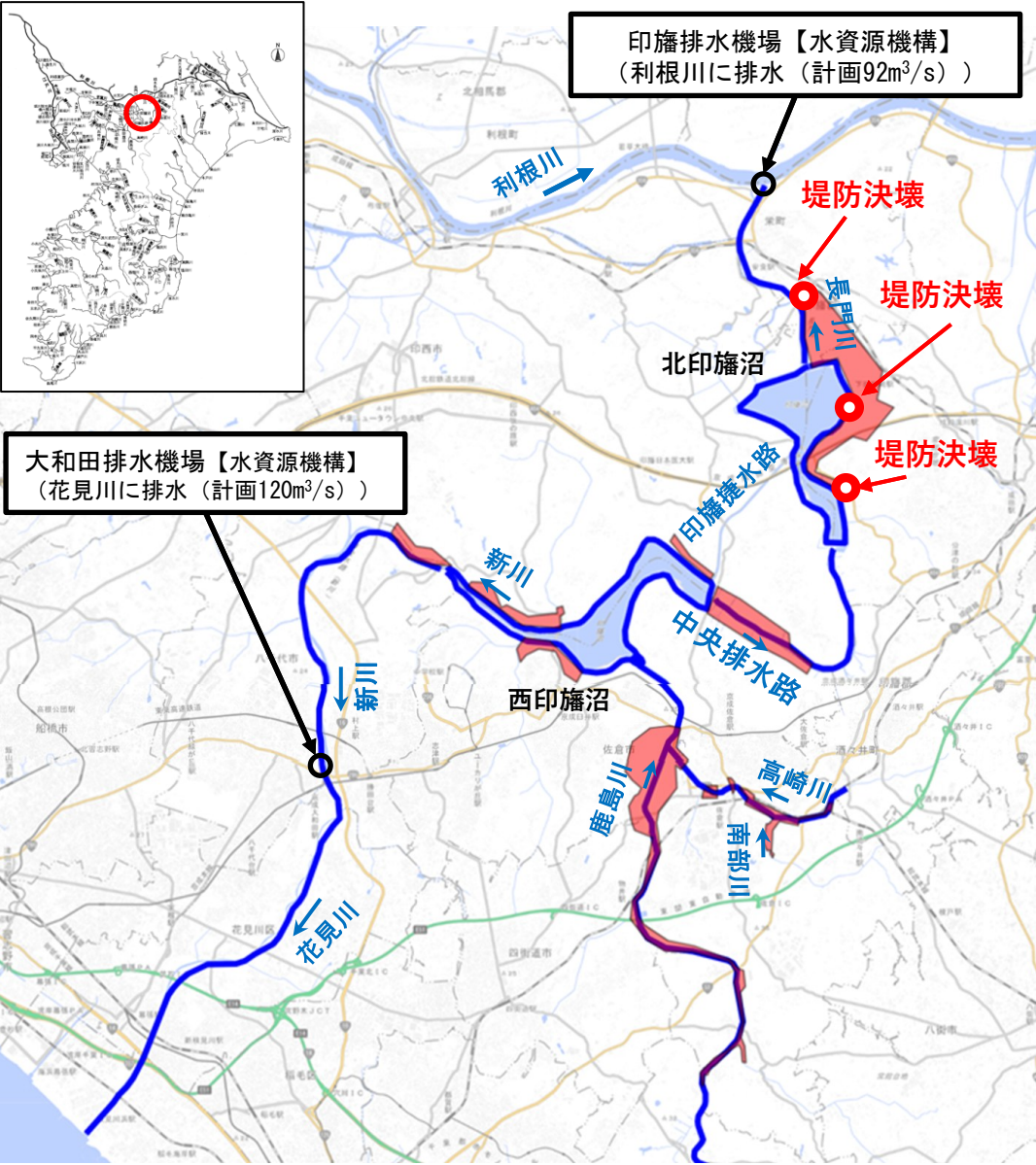
③ 浸水箇所における緊急排水

現在、印旛沼周辺地域など千葉県内で稼働している排水ポンプ車に加えて、堤防の決壊による氾濫水をいち早く排水するために、今後 30 台まで増強し、緊急排水オペレーションを実施。

【問い合わせ先】

- (全般について) 水管理・国土保全局 防災課 井上
代表：03-5253-8111 (内線：35379)、直通：03-5253-8457
- (①印旛沼の水位を可能な限り低下について)
水管理・国土保全局 河川環境課 大谷
代表：03-5253-8111 (内線：35492)、直通：03-5253-8449
- (②決壊した堤防の応急復旧について)
水管理・国土保全局 治水課 椎木
代表：03-5253-8111 (内線：35564)、直通：03-5253-8455
水管理・国土保全局 防災課 須藤
代表：03-5253-8111 (内線：35725)、直通：03-5253-8458
- (③浸水箇所における緊急排水について)
水管理・国土保全局 防災課 災害対策室 米田
代表：03-5253-8111 (内線：35832)、直通：03-5253-8461
- (チーム印旛沼について) 関東地方整備局 河川部 荒川
代表：048-601-3151 (内線：3517)

【台風第25号】印旛沼周辺における緊急排水等オペレーション



■ : あおぞら号での撮影画像 (令和8年9月22日14時頃) を基に浸水範囲を国土地理院にて作成
※ 撮影範囲外の浸水区域は図化できていない場合がある

■ 「チーム印旛沼」を結成
・ 千葉県、(独)水資源機構、関東地方整備局

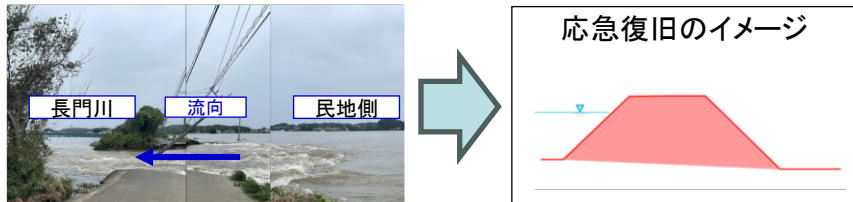
■ 「印旛沼周辺における緊急排水等オペレーション」の3本の柱

① 印旛沼の水位を可能な限り低下



⇒ 排水ポンプ (大和田排水機場、印旛排水機場等) を最大限稼働し、印旛沼の水位を平常時の水位まで低下させた上で、可能な限り水位低下を図っていく

② 決壊した堤防の応急復旧 (印旛沼等の3地区4か所)



⇒ 決壊箇所から再び氾濫することがないように、現地での施工方法について技術的な支援を行い、早期の応急復旧を推進

③ 浸水箇所における緊急排水



⇒ 現在、印旛沼周辺地域など千葉県内で稼働している排水ポンプ車に加えて、堤防の決壊による氾濫水をいち早く排水するために、今後30台まで増強し、緊急排水オペレーションを実施